

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
田原本町	田原本町立北小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

- ・主体的に考えて、学習したり、行動したりできる児童の育成
- ・地域や学校に誇りのもてる児童の育成
- ・学校、地域がWIN, WINな関係作り

2 取組の概要

① 毎日の登下校の見守り活動

奈良市の女子児童誘拐殺人事件をきっかけに自治会長を中心とした「子どもを犯罪から守る会」が結成された。各自治会で募集されたボランティアと保護者が毎日児童の集団登校、下校に付き添い、安全を見守っている。年に1回、「守る会」のメンバーによる通学路の安全点検を行い、通学路の改善点を役場や警察に申し入れている。「守る会」の定例会（学校コミュニティ協議会）を年間5回開催し、登下校の様子だけでなく、地域行事への児童の参加の様子や学校での様子を交流し合い、課題解決に向けた意見交流を通して共通理解を図っている。

年度末に児童会主催の感謝の集いを行い、ボランティアの皆さんに歌や手作りカレンダーのプレゼントをし、児童とボランティアの皆さんとのつながりができている。

児童の登下校の集合場所に集まった保護者や地域のボランティアがあいさつや会話をすることで地域コミュニティとしてのつながりができてきている。

② 唐古・鍵支援隊による歴史体験学習の指導

本校は、弥生時代の唐古・鍵遺跡の上に立つ学校である。そうした地域環境を活かした歴史体験学習を6年生で行っている。町内で組織された唐古・鍵支援隊のボランティアの皆さんと町の文化財保存課の皆さんの指導により、年間を通して、勾玉づくり、火熾し体験、土器による古代米炊飯、弥生土器づくりと野焼きを行っている。そうした活動に必要な稲わらや材木は、地域の農家や工務店から提供を受けている。また、卒業を前にした6年生が地域への感謝の気持ちを込めて、唐古・鍵遺跡周辺のゴミ拾いを行っている。

そうした体験学習は児童の主体的な学習につながり、歴史に興味・関心をもつだけでなく、地域に誇りをもてる児童が増えた。



子どもを犯罪から守る会



通学路安全点検



算数教室



火熾し・古代米炊飯体験